

～収穫作業が本格化～

能代西高農場では作物の収穫時期になり、生徒が大事に愛情を込めて育てた様々な作物が収穫されています。8月29日には、生物資源系列に所属する2年生16人が野菜班と果物班に分かれて収穫作業に取り組みました。

野菜班では、玉ねぎや枝豆の収穫作業をし、畑から大きな玉ねぎやたくさん実の付いた枝豆を掘り出しました。枝豆は女子生徒が丁寧に選別作業に取り組みました。その他にも温室ではキュウリやオクラ、トマトなども栽培されており、生徒らはこの後の収穫を楽しみにしていました。

果物班は、ブドウ畑でデラウエアという品種のブドウの収穫作業を行いました。このブドウは、種なしにするためと果粒を大きくするためにジベレリン処理を2回しているそうです。生徒は出荷する際に袋に入れやすいように、また、ブドウに傷をつけないようにと調整作業に一生懸命取り組んでいました。この他にも、スチューベンやポートランドなど約5品種を栽培しており、まだまだ収穫作業は続きます。



～満開のひまわり畑～



能代西高農場の「ひまわり」が8月下旬に満開を迎え、来校する地域住民や子どもたちを楽しませています。能代西高のひまわりは「ハイブリッドサンフラワー」といい草丈が150cmとやや低く、花の咲いている期間が長いのが特徴です。7月に生物資源系列の2、3年生が30aの圃場に種を蒔き、大事に育ててきました。

秋には「コスモス」が能代西高農場で咲き誇ります。どなたでも観賞や来場は自由なので、ぜひお越しください。